

(別紙5)

整理番号 2017P-092
補助事業名 平成29年度 青少年の健やかな成長を育む活動 補助事業
補助事業者名 公益社団法人「小さな親切」運動本部

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

大災害の被災地域の子どもたちの創造力を引き出し、豊かで健全な心の育成を助けること。それ以外の地域の子どもたちには、被災地の状況を伝えて考えさせる中で、他者を思いやり、痛みを分かち合う心、また郷土（自分たちの暮らす街）を愛する心を育てることを目的とする。

(2) 実施内容

① 工作教室の実施

普段はごみとして捨てられる牛乳パックやラップの芯、チーズの空き箱などを使ったおもちゃ作りを実施。講師に板絵画家、絵本作家の有賀忍氏を迎え、熊本県・山鹿市立鹿北小学校で、自由な発想で楽しむこと、何もないところから生み出す喜びを伝えた。

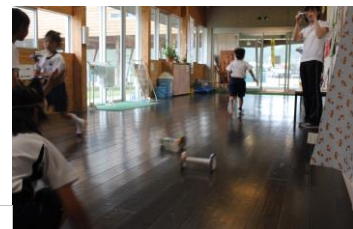
※工作教室の様子は、当団体Facebookでも紹介。



“ちゃんしの”がおもちゃ作りをサポート



好きなおぼけの絵を描こう！



自由な発想で遊び方も考えよう

② 声優による紙芝居上演の実施

平成28年熊本地震の傷跡がまだ残る、熊本県・熊本市立大江小学校で実施。人気アニメの声優さんが、目の前で読む紙芝居に子どもたちは目を輝かせていた。学校からも「子どもたちの心が明るくなる、素敵な時間だった」といった声が届いている。出演は、「ちびまる子ちゃん」ブー太郎役でおなじみの、永澤菜教さん。

※紙芝居上演の様子は、当団体Facebookでも紹介。

(別紙5)



声優さんが目の前で読んでくれます



みんな、紙芝居に夢中!

③ 紙芝居を活用した道徳授業の実施

オリジナル紙芝居「つなみのひ」「まつりのひ」を教材として、3都県4か所で道徳のモデル授業を実施。今年度は、初めて学童保育施設（東京都）でも授業を行った。助け合いや思いやりの心、郷土愛を育める内容だと教育現場での評価も高い。また、多くの学校に紙芝居を活用した授業を広めようと、授業後に教員向けの事後研究会も実施した。

※紙芝居授業の様子は、当団体Facebookでも紹介。



みんなで考えてみよう、と呼びかけます



カラーカードを使って自分の気持ちを表現



子どもたちのために、先生たちも勉強中

④ 活動をほかの世代にも広げるための事前調査

紙芝居授業の講師、実施校の教員などから、子どもの豊かな心を育てるには幼児の頃から始めた方が有効であるという声が多く寄せられたことを受け、幼児向け教育プログラム及びツールの制作を予定。こういった内容が求められているのかを知るため、教育関係者（大学教授のほか、幼稚園や保育園など7箇所19名）にヒアリング調査を実施した。

⑤ ホームページを活用した活動紹介

紙芝居が国外からも注目されていることを受け、オリジナル紙芝居「つなみのひ」「まつりのひ」の英語版動画を制作、ホームページに掲載した。また、災害に関する情報を常に発信していこうと、東日本大震災から学ぶ「災害文化」という考え方を紹介するページを追加。専門家の大学教授の話や、東日本大震災の被災地域にある小学校での減災教育の取り組みについても紹介している。

(別紙5)



日本語版と英語版を読み比べることができます



「災害文化」と「減災教育」を紹介

2 予想される事業実施効果

「工作教室」や「声優による紙芝居上演」は災害の被災地域における教育支援として活動してきた。これまでの実施先からは、「子どもたちが想像することで楽しみや喜びを感じることで心を解放し、自ら考え生きていく力につながる」「憧れの存在が目の前でパフォーマンスすることは、貴重な体験となり、その体験が心を豊かにしていく」と高い評価をいただいている。東日本大震災の被災地域では、当時の様子を覚えている小学生もかなり少なくなり、現在は活動当初とは状況が異なっている。活動自体の評価は高く、より多くの子どもたちの心の成長に寄与できると考えるため、今後は活動対象を全国に拡大していきたいと考えている。

今回実施した「紙芝居を活用した道徳授業」では、各地で多くの教員（他クラス、他学年、他校から）や教育委員会、地域の大人たちが授業を見学に訪れてくれた。実際の授業を見てもらったことで、紙芝居を授業で活用することの有効性を伝えることができ、また、広く地域の方々に活動を知ってもらうことができた。初めて学童保育施設で授業を行い、主任指導員からは「子どもたちがこんな発言をするとは驚いた。今後もぜひ自分たちで取り組んでいきたい」と好評だった。今後は小学校以外にも活用場が広がっていくと考えられる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

専用ホームページ <http://www.kindness.jp/kids/>

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人「小さな親切」運動本部
(チイサナシンセツウンドウホンブ)

住 所： 〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町2-20-4

代 表 者： 代表理事 鈴木恒夫 (スズキツネオ)

担 当 部 署： 事業推進 (ジギョウスイシン)

担 当 者 名： 五味佑理子 (ゴミュリコ)

電 話 番 号： 03-3263-2866

F A X： 03-3263-3838

E - m a i l： skm1963@kindness.jp

U R L： <http://www.kindness.jp/>